



2024年02月 現在

## Fujitsu Software

### Interstage List Creator Standard Edition V11.1.0

本商品は、ビジネス分野で必須の罫線/網がけを使った本格的な帳票を簡単に設計し、ノンプログラミングで帳票を出力するための機能を提供します。本商品は、ローカル帳票出力環境、および、別コンピュータのInterstage List Creator Standard Edition/Enterprise EditionおよびWorkstation機能と連携した大量分散帳票出力環境の構築に適しています。

- サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

---

- Workstation機能(32bit)

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **サーバ**

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

---

- **Workstation機能(32bit)**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10

### 1. 帳票フォーマット機能

帳票定義と入力データを指定するだけで、自動的に帳票レイアウトにフォーマットして、帳票を出力します。帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません。入力データは、XML形式、テキスト形式または、CSV形式のため、入力データを生成するアプリケーションサーバの機種を問いません。

さらに、項目属性切替え機能により、帳票定義情報に定義されている属性情報を、帳票出力時に置き換えて出力することが可能になります。

### 2. 多様な分散帳票出力機能

#### (1) リモート帳票出力機能

帳票出力サーバへの大量帳票出力ができます。また、アプリケーションサーバからの要求で大量帳票出力ができます。これにより、離れた場所にあるサーバへの帳票出力や、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

#### (2) コネクタ連携機能

Interstage List Creator Connectorと連携することで、アプリケーションサーバからの要求により生成された帳票データを、要求元であるアプリケーションサーバに転送する(戻す)ことができます。これにより、離れた場所にあるサーバへの帳票出力や、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

### 3. 各種インタフェースを実装

各種アプリケーションサーバに対応するためのインタフェースを提供します。提供インタフェースは、Java、COBOL及びコマンドです。

### 4. セキュリティ機能

どのような帳票出力が行われたかは全て監査証跡ログに採取されます。また、出力する帳票に所有者や日時などを特定するためのID印刷が可能です。

これらの機能により、情報漏えい問題が発生した等、帳票の追跡が必要な場合、迅速な対応が可能になります。

### 5. Interstage List Creator Workstationの同梱

Interstage List Creator Standard Edition / Interstage List Creator Enterprise Editionに、Interstage List Creator Workstationが同梱されています。

これにより、クライアント環境において、下記のWorkstation機能(32bit)が使用できます。

1. 帳票フォーマット機能
2. 多様な分散帳票出力機能
3. 各種インタフェースを実装
4. Interstage商品との連携(高信頼性印刷)

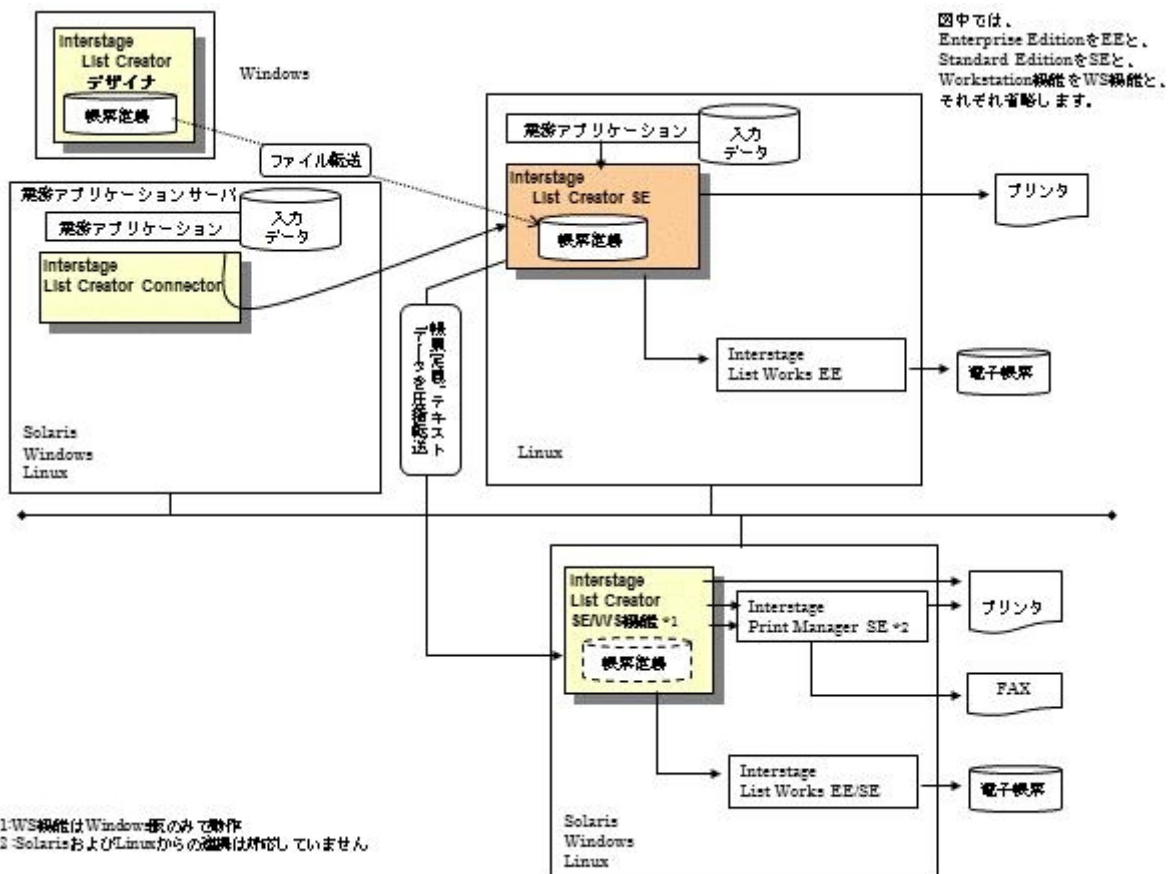
### 6. 多言語対応

各国の環境や言語にあわせた帳票を(多国語帳票)を設計・出力できます。

以下の言語に対応しています。

- 日本語/英語/中国語(簡体)/中国語(繁体)/韓国語
- ポルトガル語/フランス語/スペイン語/ドイツ語/ロシア語
- タイ語/ベトナム語/チェコ語

# システム/機能構成図



## 新規機能

V11.0.0からV11.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

### 1. 新OS対応

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)に対応しました。

### 2. 帳票出力機能の強化

- 帳票出力時のオプション(タイトルなど)にJIS第三水準/第四水準漢字を設定できるようになりました。
- コネクタ連携時に、帳票出力サーバで出力した帳票(PDFファイル/OWFファイル/Excelファイル/TIFFファイル)をアプリケーションサーバに配置する際に、帳票のアクセス権(パーミッション)を変更できるようになりました。

## 標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
  - ・ マニュアルについては購入方法を参照してください。

### 【メディア】

- ・ Interstage List Creator Standard Edition メディアパック (64bit) V11.1.0

### 【サブスクリプションライセンス/サポート】

#### [サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

#### [サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年



### 1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用权は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

### 2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

### 3. Workstation機能(32bit)について

Interstage List Creator Standard Editionには、Workstation機能(32bit)が同梱されており、接続するクライアントに対してインストールフリーです。

### 4. クラスタシステムで運用する場合の購入方法について

- ・1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1つ購入することで使用することができます。
- ・運用待機形態以外で運用する場合は、各ノード単位に、本商品を購入する必要があります。

### 5. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 6. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 7. オンラインマニュアルについて

本商品には、以下のオンラインマニュアルが添付されています。

- ・マニュアル体系と読み方
- ・リリース情報
- ・解説編
- ・帳票設計入門ガイド
- ・帳票設計編
- ・環境設定・帳票運用編
- ・アプリケーション作成ガイド
- ・PDF変換機能編

- ・ Excelファイル出力機能編
- ・ TIFF出力機能編
- ・ COBOLアプリケーション連携機能編
- ・ トラブルシューティング集
- ・ メッセージ集
- ・ 用語集
- ・ マルチコネクタ連携機能編

## 8. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

### 【V11.1.0】

#### (1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

#### (2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「Workstation機能」については、お客様はサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

#### (3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

### 【V11.0.0】

#### (1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

#### (2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「Workstation機能」については、お客様はサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

### 1. 利用者定義文字を使用する場合

利用者定義文字を使用した帳票を運用する場合、以下の製品が必要です。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9.4.1以降

### 2. 帳票の設計を行う場合

帳票の設計を行う場合は、以下のソフトウェアが必要です。

- ・ Windows版 Interstage List Creator デザイナ V9以降

### 3. FNP出力する場合

VSP/PS5000シリーズのプリンタを使用してFNP出力する場合、以下のソフトウェアが必要です。

- ・ PrintWalker/LXE V16L30以降

### 4. リモートで印刷を実行する場合

リモート帳票出力機能を使用して別のサーバで印刷を行う場合、以下のいずれかの製品が必要です。

- ・ PRIMERGY-Linux版 Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0以降
- ・ PRIMERGY-Linux版 Interstage List Creator Standard Edition V7.0以降
- ・ PRIMERGY/PRIMEQUEST-Linux(64bit)版 Interstage List Creator Enterprise Edition V9.1.0以降
- ・ PRIMERGY/PRIMEQUEST-Linux(64bit)版 Interstage List Creator Standard Edition V9.1.0以降
- ・ Solaris版 Interstage List Creator Enterprise Edition V8.0以降
- ・ Solaris版 Interstage List Creator Standard Edition V8.0以降
- ・ Windows版 Interstage List Creator Enterprise Edition V9.0以降
- ・ Windows版 Interstage List Creator Standard Edition V9.0以降
- ・ Windows版 Interstage List Creator Workstation V9.0以降

### 5. COBOLアプリケーション連携機能を使用する場合

COBOLアプリケーション連携機能を使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

<アプリケーションサーバ側>

以下のいずれかのソフトウェアが必要です。(\*1)

- ・ NetCOBOL開発・運用パッケージ V10.1.0 以降
- ・ NetCOBOL運用パッケージ V10.1.0 以降

\*1: MeFt コンポーネントを含む製品が必要です。

<帳票出力サーバ側>

以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

{ PRIMERGY-Windows }

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降

{ Solaris OS }

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降

{ PRIMERGY-Linux(64bit) }

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9.1.0以降

### 6. 電子帳票の保存を行う場合

電子帳票の保存を行う場合は、以下のソフトウェアが必要です。

- ・ Interstage List Works Enterprise Edition V10.4.0以降

### 1. プリンタ装置

以下のプリンタ装置に対応しています。

- ・富士通VSPシリーズ
- ・富士通PSシリーズ
- ・各社PostScriptプリンタ

---

### 2. 負荷分散装置

負荷分散装置使用時は、以下のIPCOMを動作保証します。

- ・IPCOM EX2-1100
- ・IPCOM EX2-3200
- ・IPCOM EX2-3500

### 1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

### 2. WindowsデスクトップOS(64-bit)上での動作

Workstation機能(32bit)は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

### 3. 帳票設計環境と出力環境でのバージョン混在時の運用について

(1) 旧バージョン Interstage List Creator デザイナで作成した帳票を、新バージョン製品で帳票出力する場合

出力できます。留意事項はありません。

(2) 新バージョン Interstage List Creator デザイナで作成した帳票を、旧バージョン製品で帳票出力する場合

帳票出力サーバ側の旧バージョン製品のサポート機能の範囲内でのみ使用できます。機能レベルの低い方の機能範囲で使用してください。

例えば、新バージョンのInterstage List Creator デザイナを使用して、旧バージョン製品でサポートしていない機能を定義した帳票を旧バージョン製品で出力しようとする、エラーが表示されます。

### 4. IPv6について

[サーバの場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できます。

(2) IPv4とIPv6が混在したネットワーク環境（デュアルスタック環境）において、リモート帳票出力の帳票出力サーバが以下の場合は、アプリケーションサーバからIPv4で通信するために帳票出力サーバのIPv6設定を無効にするか、もしくは通信対象の帳票出力サーバのコンピュータ名にIPv4アドレスを指定してください。

(3) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。

Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

[Workstation機能(32bit)の場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できます。

(2) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。

Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

### 5. 仮想環境について

(1) VMwareでの動作について

- vMotion/HA/DR/FT

分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- HA/DR/FT

単独のシステムの範囲でサポートしています。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- クローニング

コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

#### (2) Hyper-Vでの動作について

- ライブマイグレーション/クイックマイグレーション/Hyper-Vレプリカ/インポート, エクスポート  
分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

#### (3) KVMでの動作について

- ライブマイグレーション  
分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。
- クローニング  
コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。  
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

---

## 6. Windows 10およびWindows 11での留意事項

- ・ Workstation機能を使用する場合

Windows 10以降で印刷中にOSのスーパーラから、印刷の取り消しを行うと、List Creatorから出力されるエラーがID: 1050ではなく、ID: 1299のエラーが通知される場合があります。

---

## 7. 前版との機能差について

V11.1.0より、以下のOSでの利用は保証していません。

- Workstation機能(32bit) : Windows 8.1

### お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**  
本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。  
<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**  
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。  
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**  
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。  
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>